



目次

- ◇2016年度地域研究センタープロジェクト 1
- ◇2015年度地域研究センタープロジェクト報告 2
青森県の中学校における英語ライティング指導に関する考案～学習状況調査とアンケート調査の分析から～
- ◇2016年度あおもり立志挑戦塾 2
- ◇2016年度青森公立大学公開講座のご案内 3～4
外国語講座 / 「ロシア」を学ぼう！
地域創生時代における青森の中小企業経営戦略を考える～地域経営の観点から～

2016年度 地域研究センタープロジェクト

地域研究センターでは、研究員が毎年様々なテーマでプロジェクトを進めています。今年度のプロジェクトは以下のとおりです。今後については、次号以降のニューズレターでご紹介します。

- ◇ **地域コンテンツ配信端末の実装に関する調査、研究Ⅳ**
本研究は、「地域ハイブリッドコンテンツ配信手法の研究」により得られた成果を実装し地域のために役立たせるための調査、研究です。地域の情報コンテンツの配信手法を実践的に研究します。
- ◇ **地域文化教育に関する情報発信～青森県の人材(人財)養成～**
青森県の人材(人財)を養成するための事業です。地域資源ともいべき地域文化を外にむけ発信し、青森県民に対して貢献できる体制を構築する事業を継続中です。
- ◇ **地域研究センター情報発信事業**
大学と地域社会を媒体し、知的資源を積極的に地域社会に還元するための情報発信を行います。デジタル媒体と紙媒体を用いて、センターの日頃の活動や調査研究活動の成果を発信します。
- ◇ **「地域創生」時代における地域経営・自治体経営の戦略的プロジェクト**
地域社会において経済的にも文化的にも向上し、生活と経営を守り、発展させていくための理念と方法を開発し、実践の拠り所となりえる理論的実践的研究を行います。
- ◇ **国際観光都市青森へ向けたMICEの実践的プロジェクト**
～台湾・インド他諸外国との国際的協働から～
今後の青森県及び青森市における地域づくり、公共経営及び観光行政イノベーション研究を行います。地域経営、とりわけ青森市の地域研究の新機軸を打ち出し、さらなる地域貢献を検討します。
- ◇ **日本における留学形態の変遷と傾向およびパラダイムシフトに関する有効性の研究**
今後、青森県でも増えると思われる「短期留学」プログラムに関し、その変遷と有効性について、調査・分析・検証を行います。
- ◇ **青森の魅力を世界に発信**
～青森県中学生の英語リーディング能力と情報発信力の向上を図る
青森を題材にした英語リーディング教材の開発に関する研究Ⅰ～
中学生が青森について理解を深め、英語で青森の魅力を紹介できる表現力を身につけるため、青森を題材にした英語リーディング教材を開発します。
- ◇ **佐々木多門が英紙ザ・タイムズに寄稿した記事の特定を試みる研究Ⅰ**
～コーパス言語学における形態素分析を援用して～
コーパス言語学における形態素分析の手法を用いてザ・タイムズの記事を分析し、そこから佐々木多門の記事の特定を試みます。

2015年度地域研究センタープロジェクト報告

青森県の中学校における英語ライティング指導に関する考察 ～学習状況調査とアンケート調査の分析から～

本研究は、近年中学生の英語力の課題として「書くこと」が挙げられていることを受け、青森県中学生の英語ライティング能力やライティング指導の課題を明らかにし、それらを解決するための対策を提案することを目的としています。

データは、青森県教育委員会が毎年県内公立の中学2年生を対象に実施している学習状況調査の英語科の結果と、青森県内の中学校47校で実施したアンケート調査の結果を活用しました。アンケートは、その学校に在籍する英語教員(計112名)及び中学3年生(計3,287名)を対象にしています。英語教員には英作文指導と県が実施している学習状況調査について、そして3年生の生徒には英作文に対する意識について質問しました。3年生を対象としたのは、長い英作文を指導され、実際に書いた経験があると判断したためです。

分析の結果、全国的な規模で行われている調査同様、青森県でも「まとまりのある文章を書く力」に課題があることがわかりました。そして、生徒は英語で書くことに苦手意識をもち自信もないこと、教員も生徒は英語のライティングが苦手だと思っていることが明らかになりました。さらには、ライティング指導は行われているものの十分ではないこと、青森県教育委員会が発行している学習状況調査の報告書が十分活用されていないことも明らかになりました。

そして、これらの課題を解決し、中学生の英語ライティング能力を向上させるために、本研究では、カリキュラムを見直しライティングの時間を十分確保すること、具体的な到達目標を示すcan-doリストを活用すること、生徒が英語を使う時間を増やす授業改善をすること、学習状況調査報告書をもっと活用することなどを提案しました。

本研究の結果は、あくまでも青森県内の一部を対象としたものであり、結果を強く断定するものではありませんが、傾向としては同じものであるのではないかと推察しています。

今後、国の施策では、学力テストを実施する旨が示されており、現在は英語教育が大きく変換する過渡期にあります。今後次回の学習指導要領の改定が予想されている2020年に向け、教育現場は今まで以上に混乱と多忙を極めるものと推測できます。本研究が少しでも県内の英語指導の改善に役立つことを願っております。

さいごに、県内の中学校の校長先生方には、突然のアンケートの依頼にも関わらず、快く引き受けてくださり、本当にありがたく思っております。ここに関係各位に対し心より深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

研究責任者：地域研究センター研究員 丹藤永也

2016年度あおもり立志挑戦塾

本学が青森県との連携協定に基づき、青森立志挑戦の会(ARC)と三者で取り組む「あおもり立志挑戦塾」が今年度も開講しました。この塾は、将来の青森地域を担う人財を育成するとともに、ネットワークづくりを支援することを目的としています。

第一回は、青森公立大学国際交流ハウスで、塾長や講師の講話の後、今年度の入塾生が一人ずつ決意表明を行い、三村青森県知事から激励の言葉が送られていました。中西地域研究センター研究員がファシリテーターを務めたグループディスカッションでは、講演の内容を踏まえて、地域を担う人財としてリーダーシップをどのように磨いていくべきかについて熱い議論が交わされていました。

今後も塾内での様々な活動を通じ、青森地域の人財が育まれていきます。地域研究センターでは、企画や運営に関する助言を含めた支援を引き続き行っていきます。



2016年度青森公立大学公開講座のご案内

今年度は、以下の公開講座を予定しています。受講料は無料ですので奮ってご参加ください。なお、講座内容や申込方法等の詳細は、ポスター、チラシまたは青森公立大学地域連携センターホームページをご覧ください。

外国語講座

外国語講座では、今年度新たなコースを追加し、下記のとおり全7コースを順次開講します(「ことばと文化」以外のコースはテキストの購入が必要です)。また、応募多数によりキャンセル待ちになる場合がありますので予めご了承ください。

場所 フェスティバルシティ・アウガ6階 まちなかラボ(「ことばと文化」は アウガ5階 カダール研修室)

対象 一般社会人・学生(高校生・大学生・大学院生) **定員** 各コース10名(先着順)
(「ことばと文化」は50名)

コ	ー	ス	内	容	日	程
NEW	ことばと文化	-外国語学習へのヒント-	(テキスト不要)	ことばと文化について考えるコース 講義形式でことばと文化について考えると同時に、外国語上達のためのヒントを学びます。	7月30日(土)	18:30~20:00
NEW	英文学	初 級	英文学を愉しむためのコース シェイクスピア『マクベス』の世界に触れながら、Readingスキルを身につけます。	全4回 7月25日(月)~7月28日(木)	19:00~20:00	
	観光英語	初 級	英語を使用する接客機会を想定したコース 観光・旅行の業務に必要な基礎的な表現や英語を実践的に学びます。	全4回 8月22日(月) 8月25日(木) 8月29日(月) 9月 1日(木)	18:00~19:00	
	観光英語	中 級	英語を使用する接客機会を想定したコース 観光・旅行の業務に必要な少し専門的な表現や英語を実践的に学びます。	全4回 9月 5日(月)~9月 8日(木)	19:10~20:10	
	ビジネス英語	初 級	ビジネス場면을想定したコース ビジネス場面に必要な基本的な英語を実践的に学びます。	全4回 9月 5日(月)~9月 8日(木)	18:00~19:00	
	TOEIC対策	500点	TOEICテストに特化した対策コース TOEICを通して英語に触れ、500点を目指します。	全4回 8月22日(月) 8月25日(木) 8月29日(月) 9月 1日(木)	19:10~20:10	
	TOEIC対策	700点	TOEICテストに特化した対策コース TOEICを通して英語に触れ、700点を目指します。	全4回 9月12日(月) 9月13日(火) 9月15日(木) 9月16日(金)	18:30~19:30	



「ロシア」を学ぼう！

本講座は、ロシア文化やロシア語を学ぶための講座として今年度初めて開講します。次の内容で、本学教員トルストグゾフ先生と一緒にロシアについて学びます。

対象 ロシア文化やロシア語に興味のある方(中学生以上)
※第3回は親子であれば未就学児童及び小学生も参加可

	日 程	タ イ ト ル	場 所	定 員
第1回	11月 5日(土) 14:00～16:00	ロシア文化の特徴とその世界文化への貢献	青森公立大学 講義室(544教室)	50名
第2回	11月12日(土) 14:00～16:00	外国人のためのロシア語能力試験の特徴と準備	青森公立大学 講義室(544教室)	50名
第3回	11月26日(土) 10:00～14:00	ロシア料理の特徴(ボルシチの作り方)	青森公立大学 国際交流ハウス	30名

地域創生時代における青森の中小企業経営戦略を考える ～地域経営の観点から～

本講座は、青森の中小企業経営戦略について、本学教員をはじめとした専門家が、次のとおり様々な観点からアプローチし、地域創生時代における地域づくりの総合戦略を検討します。

場所 フェスティバルシティ・アウガ5階カダール研修室 **時間** 18:30～20:30
対象 一般社会人、会社員、公務員、学生(大学生・大学院生) **定員** 各回50名程度(先着順)

	日 程	タ イ ト ル
第1回	11月10日(木)	地域イノベーション創造の観点から
第2回	11月17日(木)	経営学・会計学・マーケティング・経営工学・経営情報の統合・融合経営の観点から
第3回	11月24日(木)	青森の中小企業の国外市場・国内市場開拓の観点から
第4回	12月 1日(木)	観光プロモーションの観点から
第5回	12月 8日(木)	モバイルネットワーク、IT情報戦略の観点から
第6回	12月22日(木)	自治体経営及び地域経営の観点から

多目的サテライト 青森公立大学まちなかラボ



本学の教職員、学生とともに、地域社会に関する研究、各種プロジェクトを行う際のディスカッションの場、地域振興、産学官連携に関する相談窓口として、ご利用ください。

〒030-0801 青森市新町1-3-7 フェスティバルシティ・アウガ6階
電話:017-718-7025 Fax:017-776-2082
E-mail:lab@bb.nebuta.ac.jp
<http://www.nebuta.ac.jp/chiken/machinaka-lab/>
開室時間 13:00～21:00

(毎週日曜日、年末年始、アウガ全館休館日、5～8階公共施設休館日は、休業いたします。)